

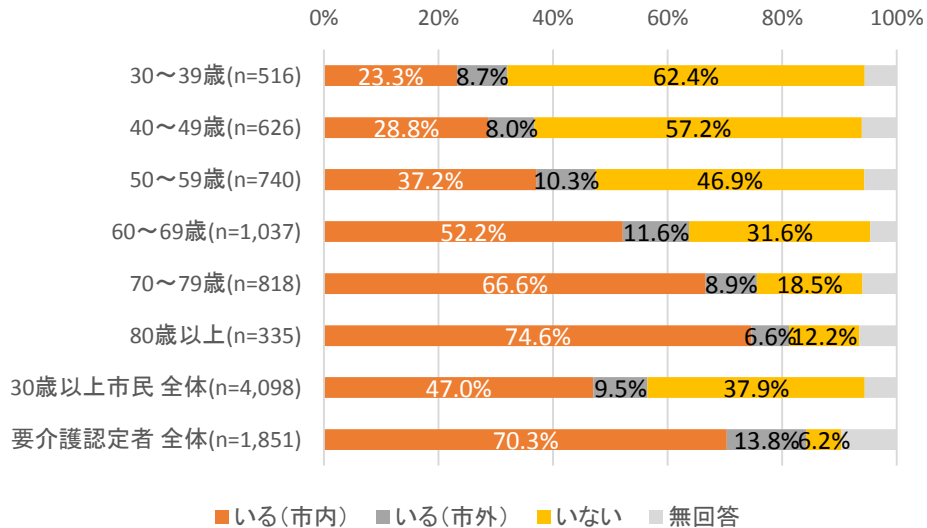
## 市民アンケート調査\_その1

## ■年齢別（10歳階級）

問 11 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(SA)

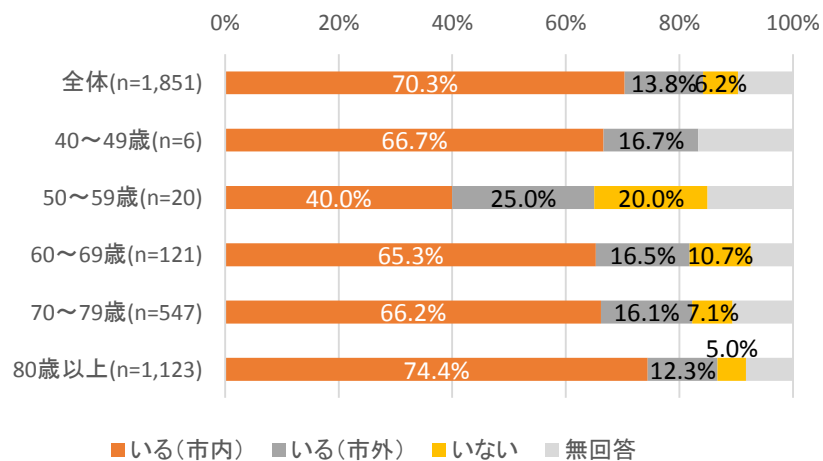
## ●30歳以上市民

- ・最も割合の高い「いる（市内）」は加齢と共に割合が高くなる傾向があり、30～39歳が23.3%に対し80歳以上では74.6%となっている。



## ●要介護認定者

- ・最も割合の高い「いる（市内）」は50～59歳を除き加齢と共に割合がやや高くなる傾向があり、30～39歳が62.5%に対し80歳以上では74.4%となっている。



## ●30歳以上市民と要介護認定者の比較

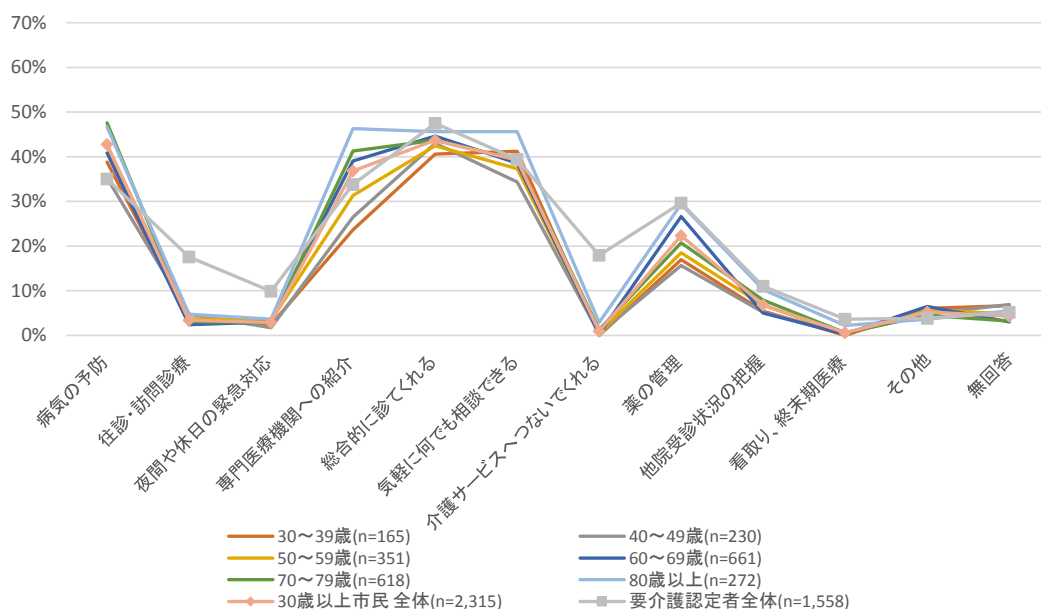
- ・全体では「いる（市内）」が30歳以上市民で47.0%である一方、要介護認定者は70.3%となっており、要介護認定者が23.3ポイント上回る。
- ・30歳以上市民に比べ要介護認定者は全年齢区分において、市内市外を合わせ「いる」の割合が高くなっている。

問 11-1 「かかりつけ医が行ってくれること」(MA) と問 14 「かかりつけ医に望む医療やサービス」(MA)

●30 歳以上市民の間 11-1 と問 14 の比較

- ・「夜間や休日の緊急対応」の割合は問 14 が問 11 より 25.8 ポイントと高く、需要は高いが実際には行われていないことが分かる。

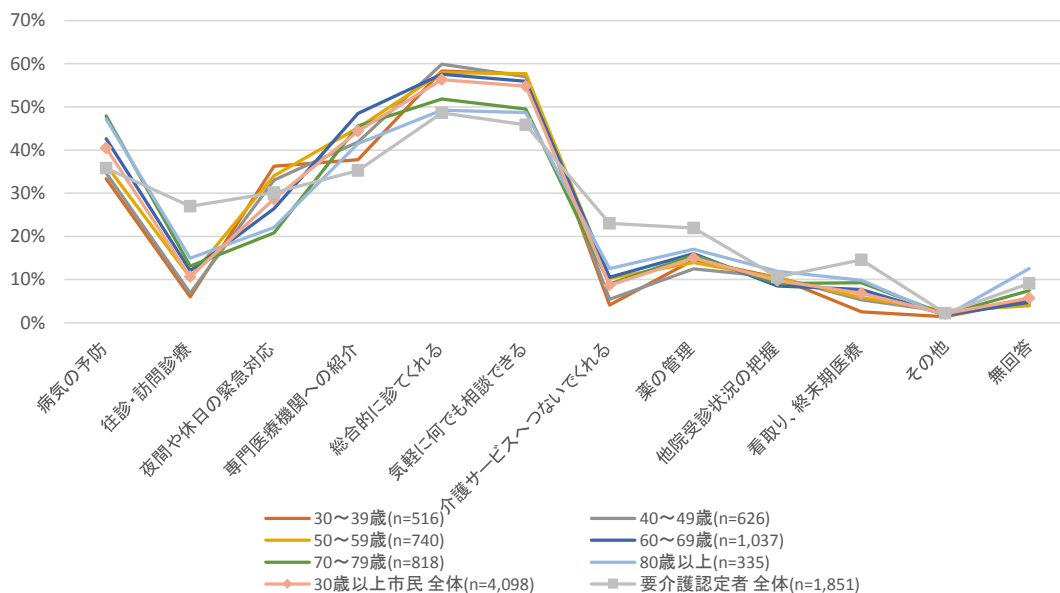
< 問 11-1 (30 歳以上市民) >



※問 11-1 における 30 歳以上市民と要介護認定者の比較について

両者共に全年齢区分において、「病気の予防」「総合的に診てくれる」などの割合が高い。

< 問 14 (30 歳以上市民) >



※問 14 における 30 歳以上市民と要介護認定者の比較について

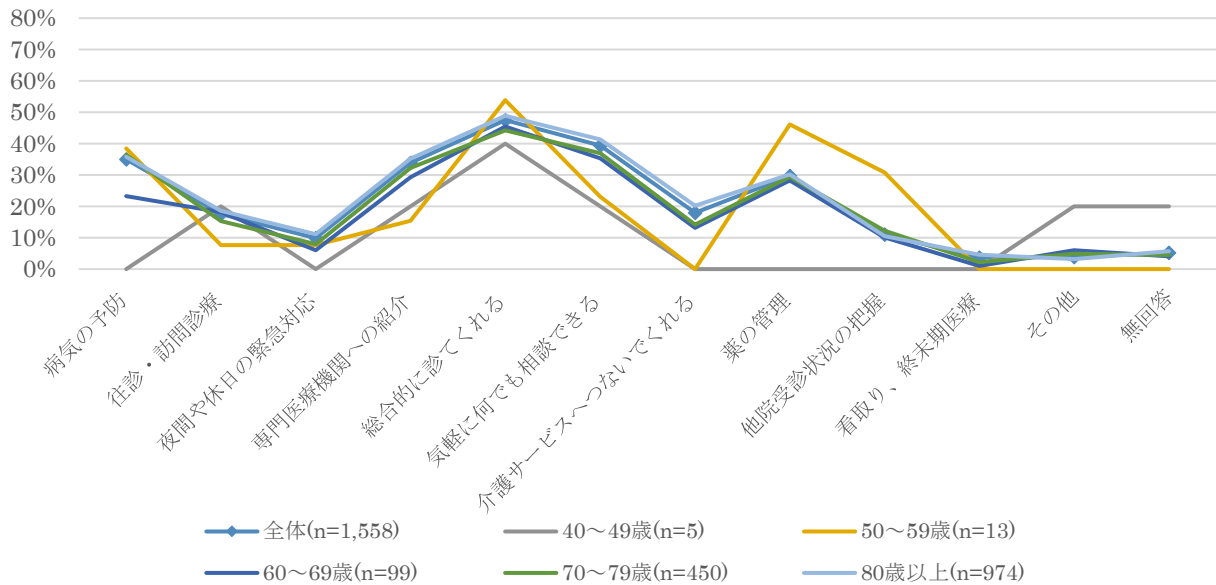
両者共に全年齢区分において「総合的に診てくれる」「気軽に何でも相談できる」などの割合が高いが、「往診・訪問医療」「介護サービスへつないでくれる」については、30 歳以上市民では 10%台であるが、要介護認定者では 20%を上回っている。

問 11-1 「かかりつけ医が行ってくれること」 (MA) と問 14 「かかりつけ医に望む医療やサービス」 (MA)

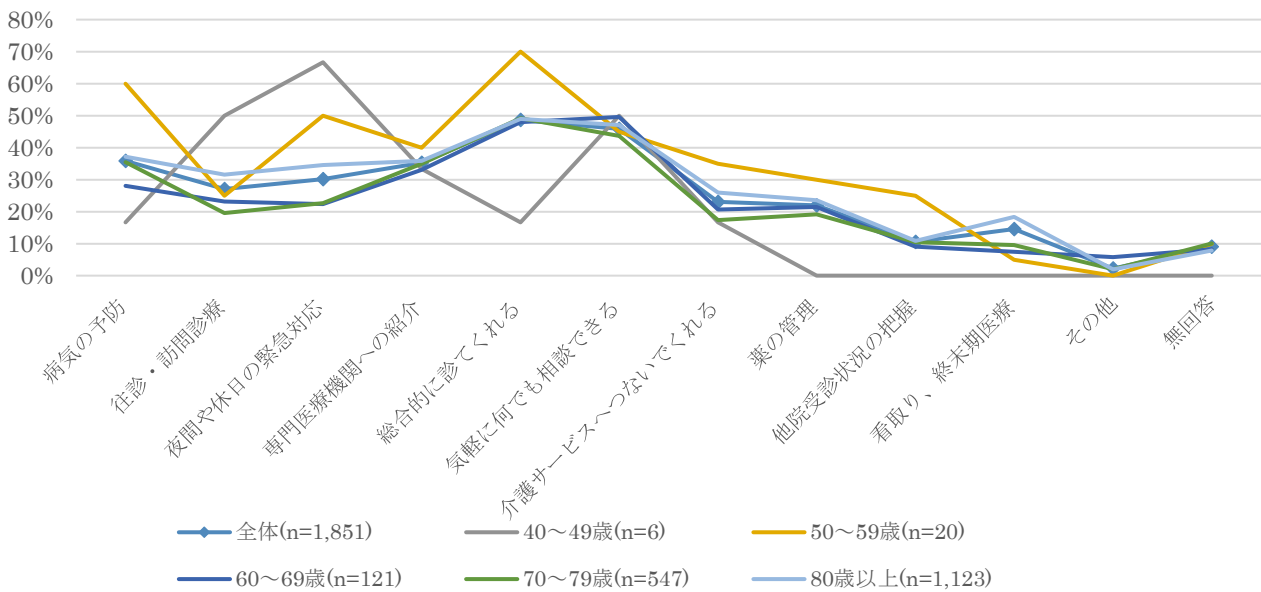
●要介護認定者の問 11-1 と問 14 の比較

- ・「夜間や休日の緊急対応」の割合は問 14 が問 11 より 20.2 ポイントと高く、需要は高いが実際には行われていないことが分かる。

< 問 11-1 (要介護認定者) >



< 問 14 (要介護認定者) >

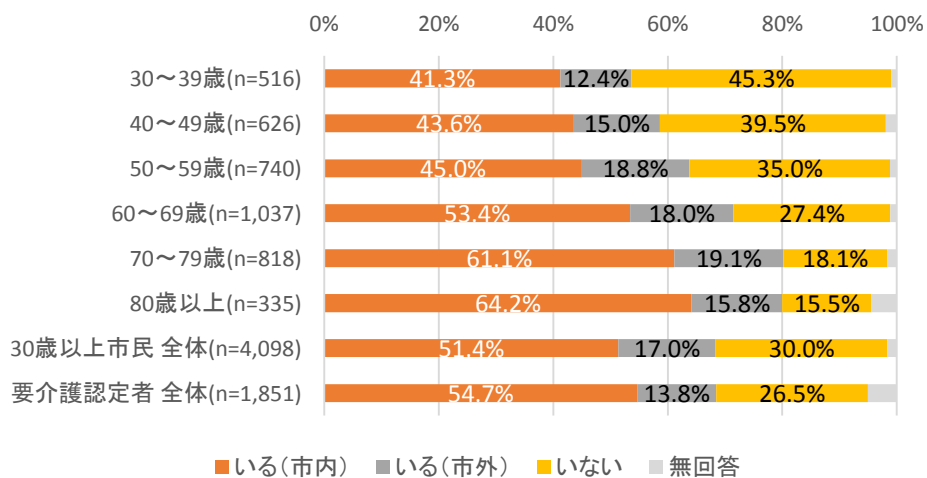


問 12 あなたには、かかりつけ歯科医がいますか。(SA)

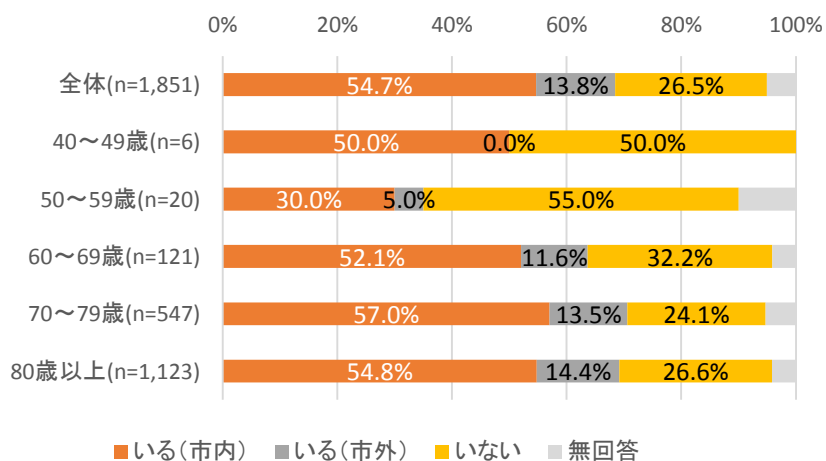
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・全年齢において、両者共に「いる（市内）」の割合が最も高いが、市内外合わせた「いる」の割合は要介護認定者より 30 歳以上市民の方が高くなっている。

<30 歳以上市民>



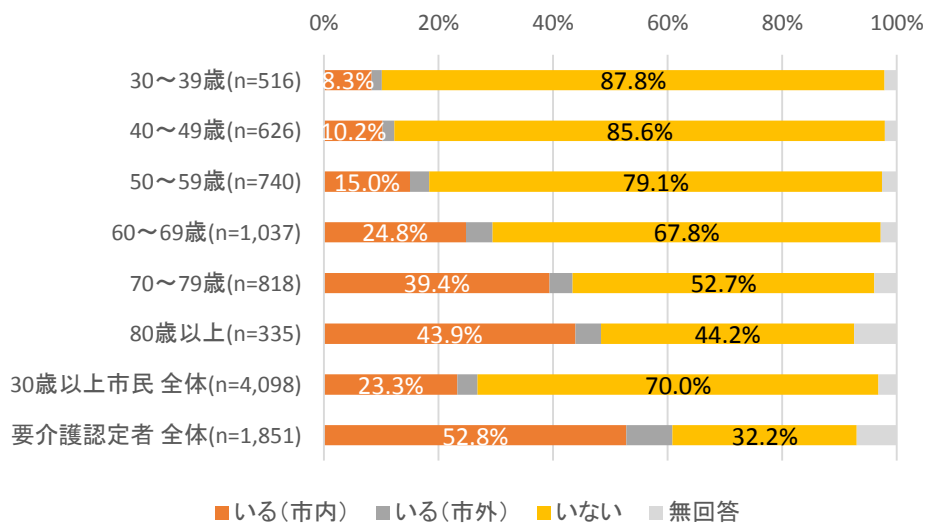
<要介護認定者>



問 13 あなたには、かかりつけ薬剤師がいますか。(SA)

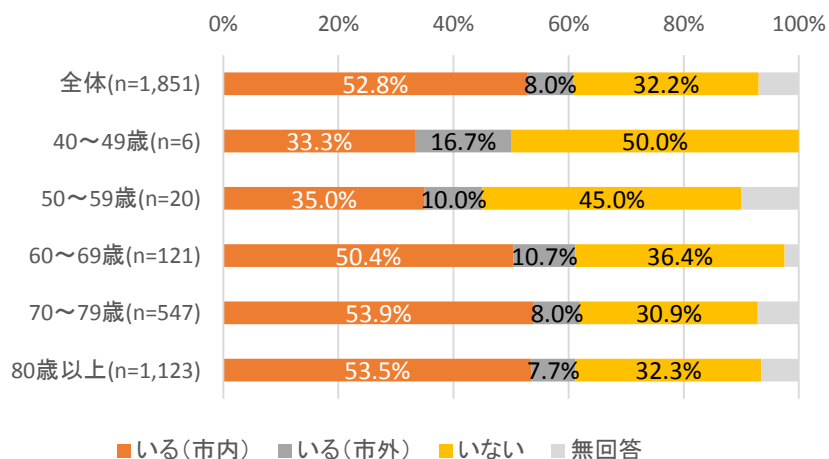
●30 歳以上市民

- ・最も割合の高い「いる（市内）」は加齢と共に高くなる傾向があり、30～39 歳が 8.3%に対し、80 歳以上は 43.9%となっている。



●要介護認定者

- ・最も割合の高い「いる（市内）」は 40～49 歳、50～59 歳で 30%台とやや低いですが、そのほかは 50%台となっており、年齢による大きな差異はみられない。



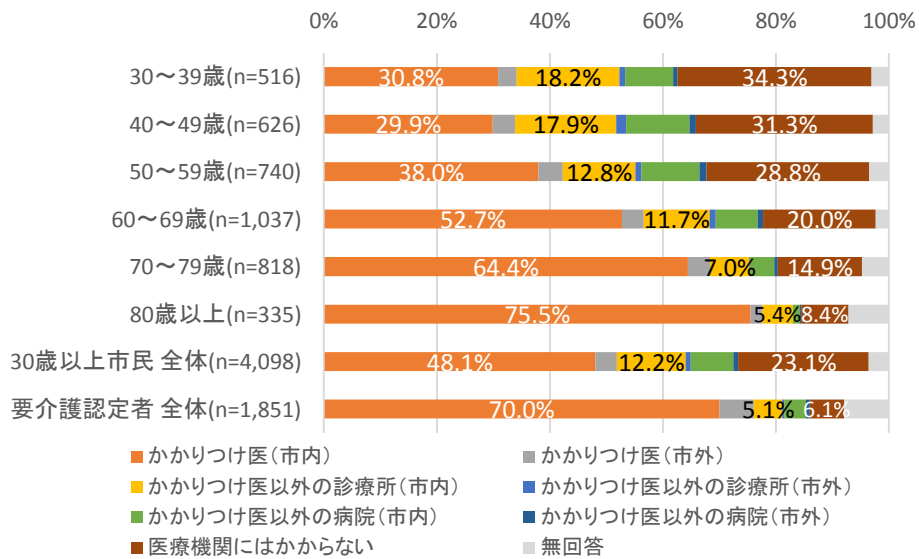
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・市内外合わせた「いる」の割合は要介護認定者の方が 30 歳以上市民より高くなっている。

問 15 あなたが、「風邪」や「腹痛」等、比較的軽度の体調不良の場合、どの医療機関にかかりますか。  
(SA)

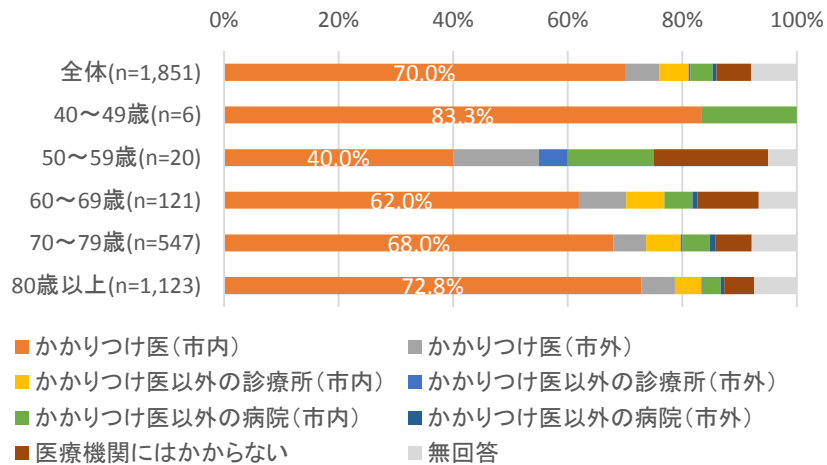
●30 歳以上市民

- ・全年齢区分において「かかりつけ医（市内）」の割合が高く、加齢と共に「かかりつけ医（市内）」が高くなり、「かかりつけ医以外の診療所（市内）」「医療機関にはかからない」が低くなる傾向にある。



●要介護認定者

- ・50～59 歳を除き、「かかりつけ医（市内）」の割合が 60%を超えており、他の選択肢は 10%を下回っていることが多い。



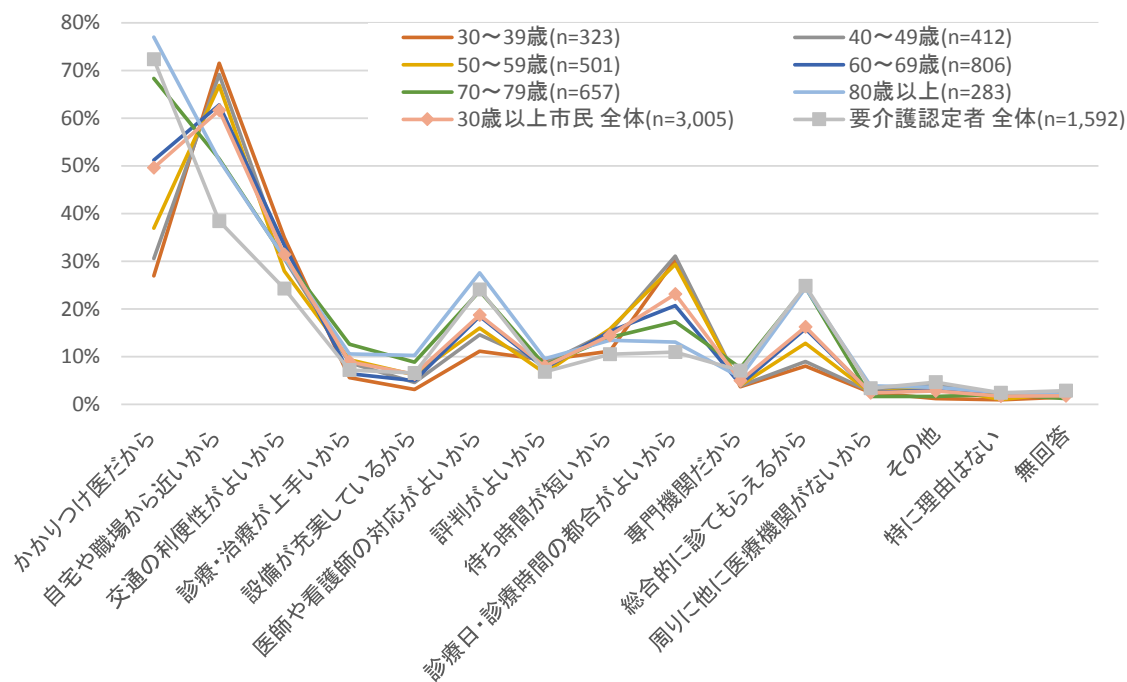
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・両者共に市内外合わせた「かかりつけ医」の割合が加齢と共に増加しているが、30 歳以上市民の方が要介護認定者より変化が大きい。

問 15-1 その医療機関を選ぶ理由は何ですか。(MA)

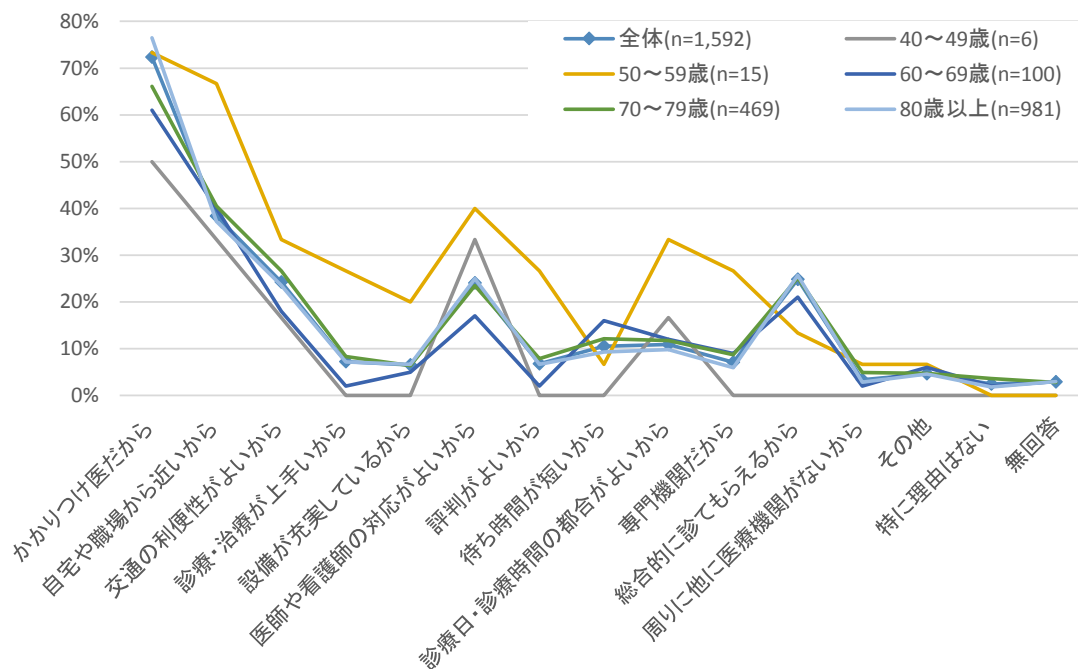
●30 歳以上市民

- ・「かかりつけ医だから」「自宅や職場が近いから」は共に割合が 50%を超えているが、「かかりつけ医だから」は加齢と共に高くなり、「自宅や職場が近いから」は低くなる。



●要介護認定者

- ・「かかりつけ医だから」の割合が高く、加齢と共に高くなる傾向がある。



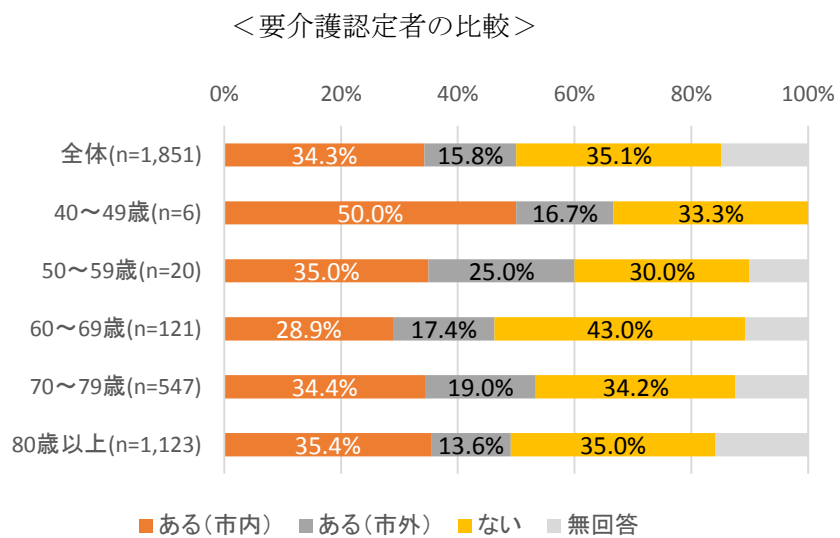
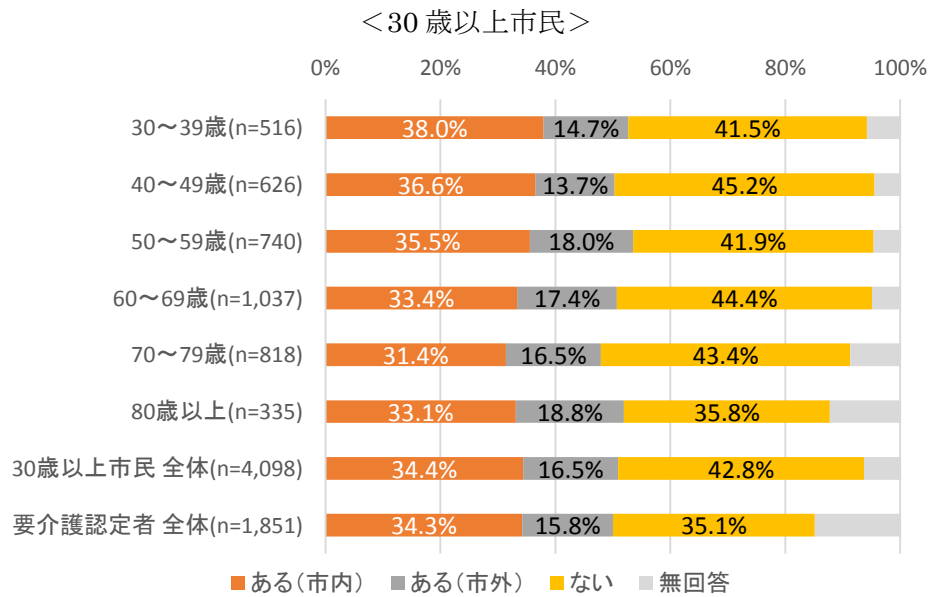
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・両者共に「かかりつけ医だから」「自宅や職場が近いから」の割合が高い。
- ・「自宅や職場が近いから」の割合は全年齢区分において 30 代以上市民は 50%を超えているのに対し、要介護認定者はほとんどの年齢で 40%以下になっている。

問 16 過去 1 年間に、「かかりつけ医以外の」医療機関の外来を受診したことはありますか。(SA)

●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

・両者共に近い傾向を示し「ある(市内)」と「ない」が 30~40% 台、「ある(市外)」が 15% 台となっている。

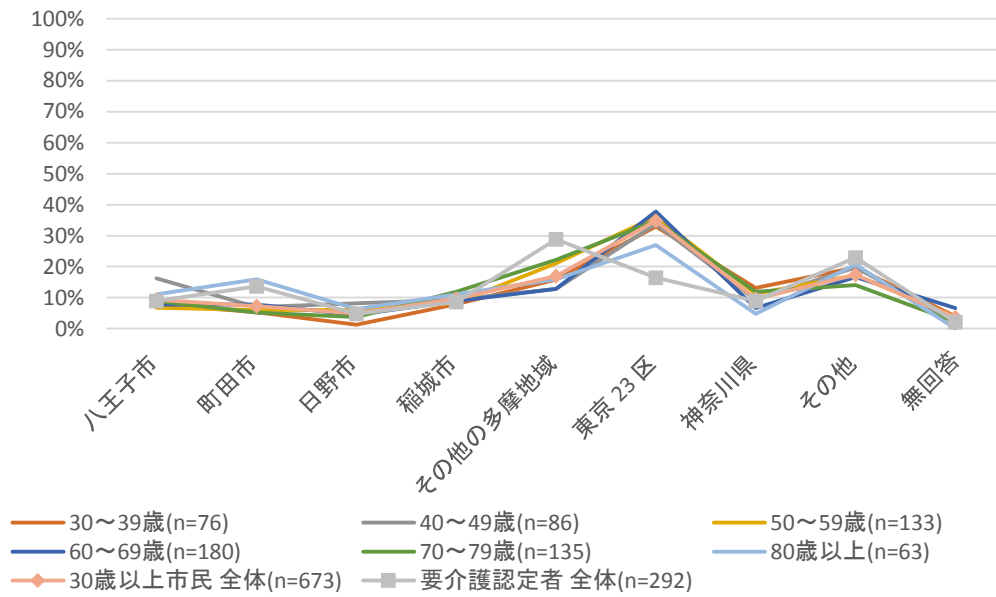




問 16-1 受診した「かかりつけ医以外の」医療機関の区市町村はどちらですか。(MA)

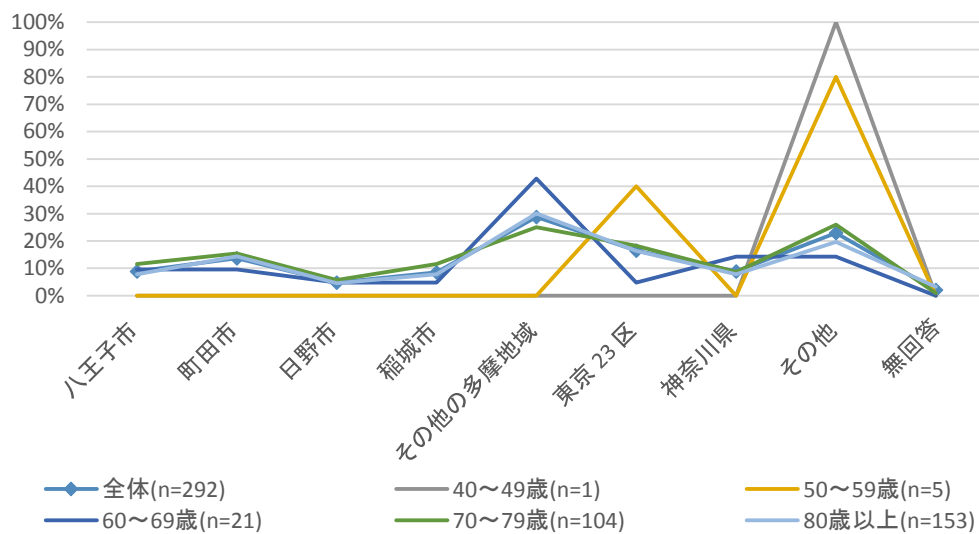
●30 歳以上市民

- ・全年齢区分において「東京 23 区」が 30%台と最も高く、次いで「その他の多摩地域」が高くなっている。



●要介護認定者

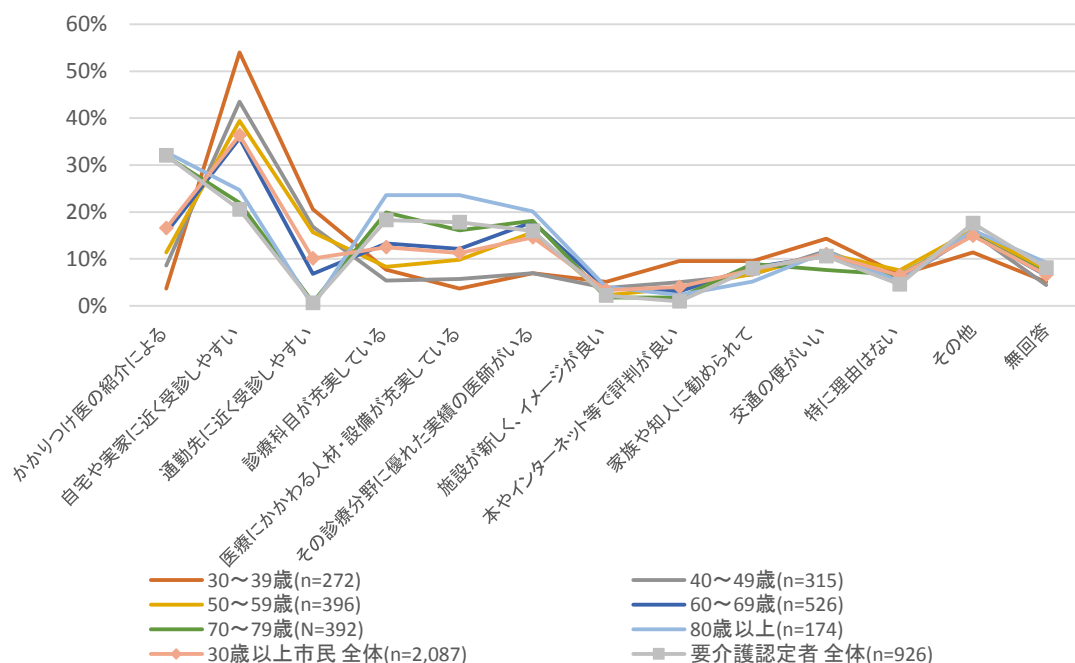
- ・70 歳以上において「その他の多摩地域」が 30%と高くなっており、次いで「東京 23 区」「町田市」となっている。



問 16-2 その「かかりつけ医以外の」医療機関を受診された理由は何ですか (MA)

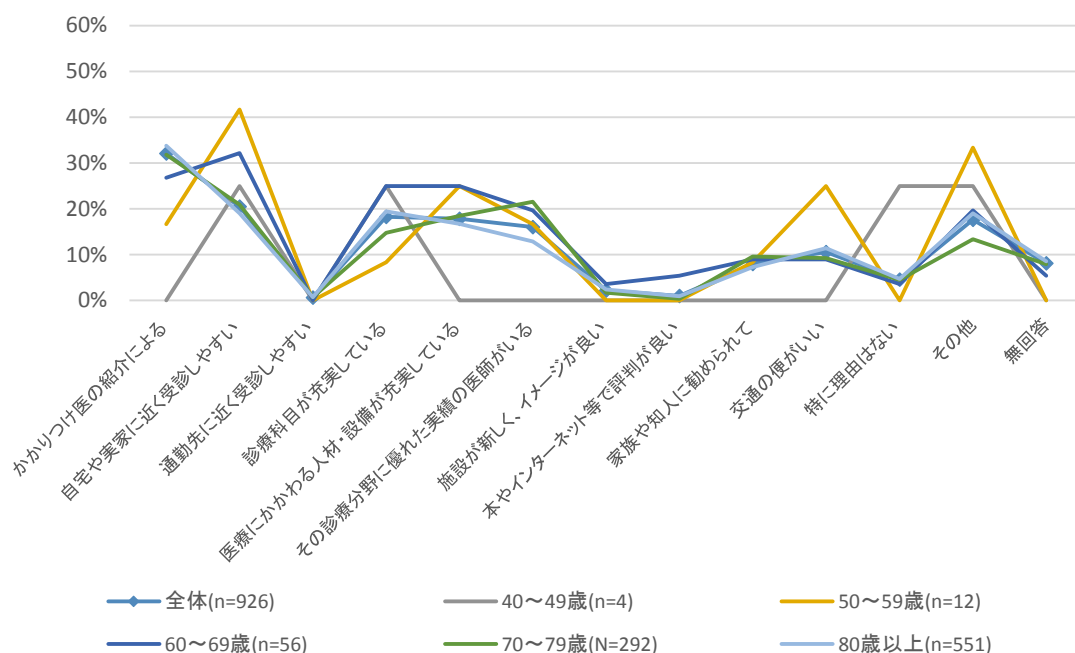
●30 歳以上市民

- ・全体の傾向として「自宅や実家に近く受診しやすい」の割合が高く、次いで「かかりつけ医の紹介による」「その診療分野に優れた実績の医師がいる」が高くなっている
- ・加齢と共に「かかりつけ医の紹介による」「診療科目が充実している」「その診療分野に優れた実績の医師がいる」の割合が高くなり、「自宅や実家に近く受診しやすい」「通勤先に近く受診しやすい」は低くなっている。



●要介護認定者

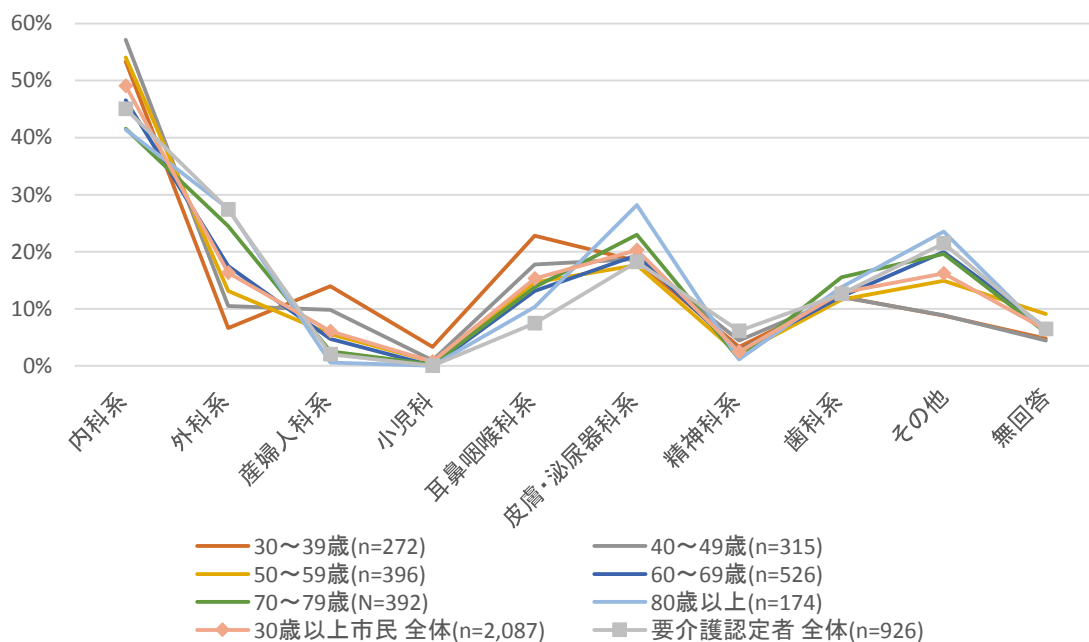
- ・70 歳以上において「かかりつけ医の紹介による」が 30%台と高く、次いで「自宅や実家に近く受診しやすい」「診療科目が充実している」「医療にかかわる人材・設備が充実している」「その診療分野に優れた実績の医師がいる」が 20%台となっている。



問 16-3 受診された診療科目は何ですか。(MA)

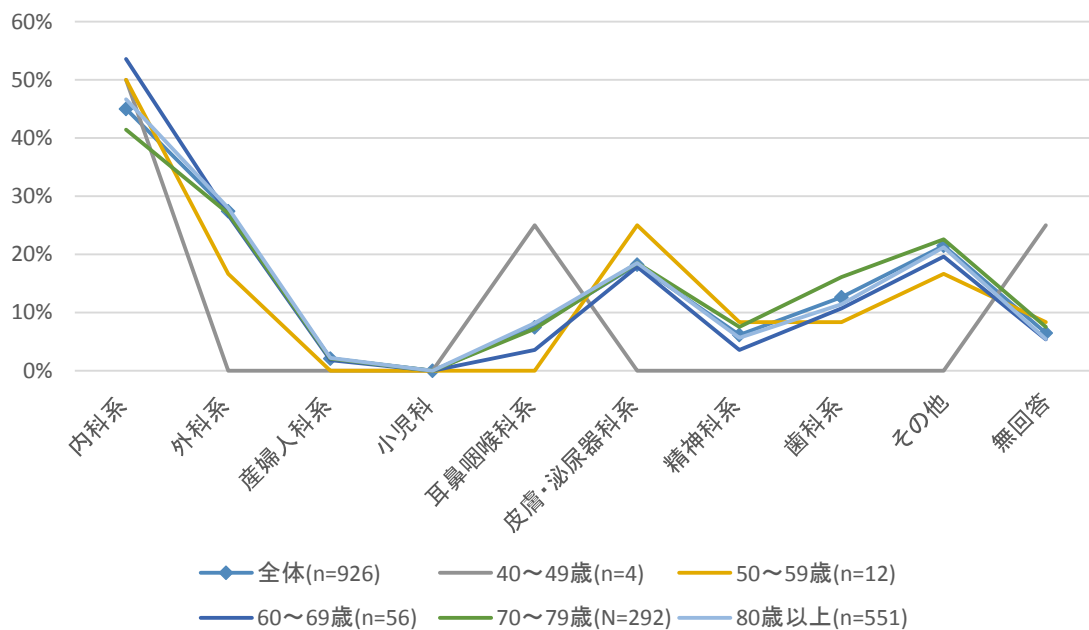
●30 歳以上市民

- ・全体の傾向として「内科系」の割合が最も高く 50%台、次いで「皮膚・泌尿器科系」「外科系」「耳鼻咽喉科」が高くなっている。
- ・加齢と共に「外科系」「皮膚・泌尿器科」が高くなり、「内科系」「耳鼻咽喉科」が低くなっている。



●要介護認定者

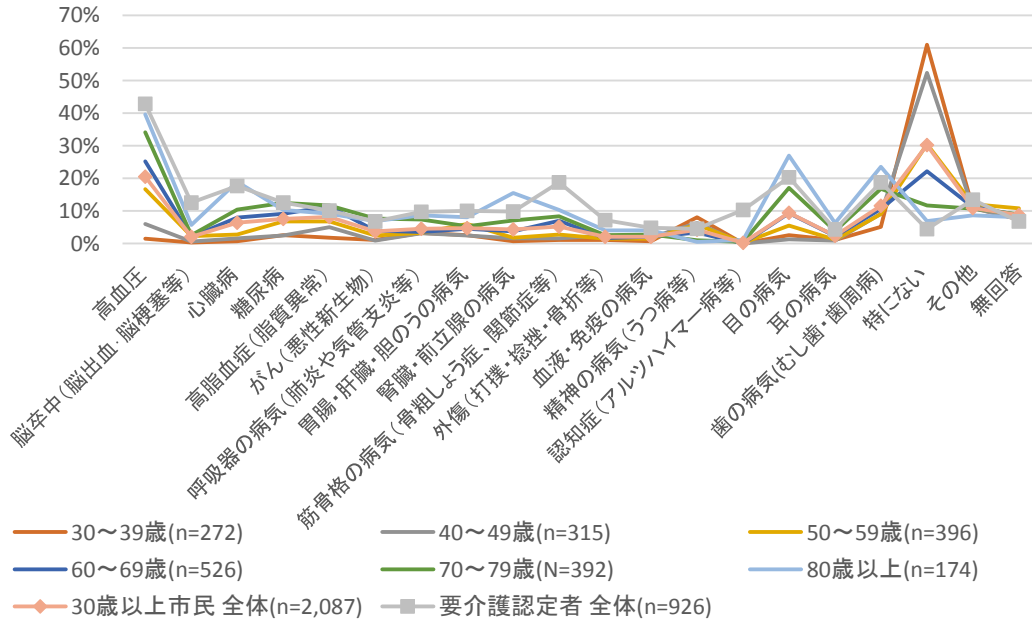
- ・70 歳以上において「内科系」が 40%台、「外科系」が 25%台と高く、次いで「皮膚・泌尿器科」「歯科系」が高くなっている。



問 16-4 現在治療中、服薬中の病気はありますか。(MA)

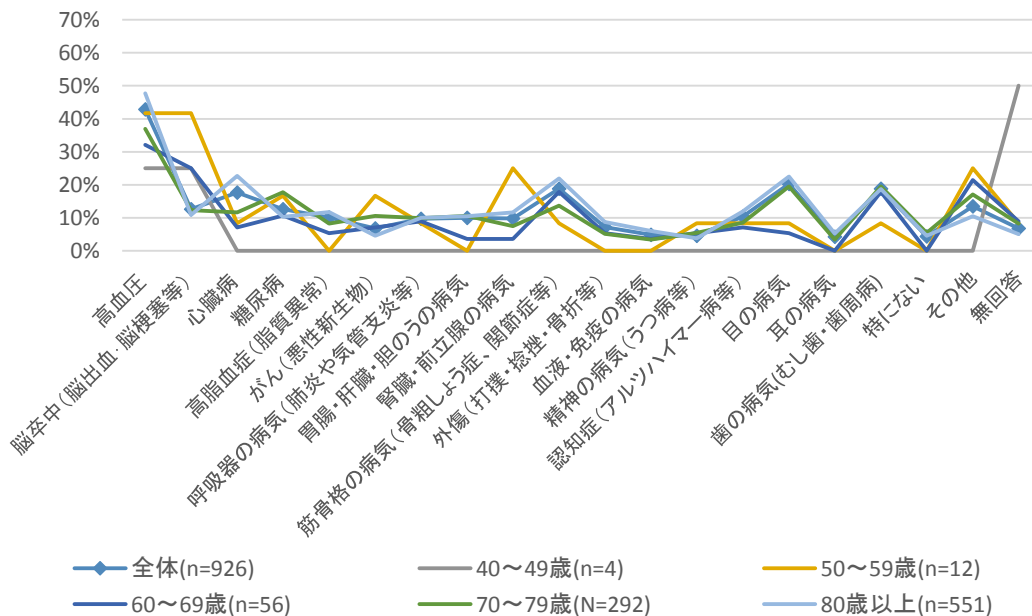
●30 歳以上市民

- ・全体の傾向として「高血圧」が割合が高く、次いで「目の病気」「歯の病気（むし歯・歯周病）」が高くなっている。
- ・加齢と共に「高血圧」「心臓病」「糖尿病」「目の病気」「歯の病気（むし歯・歯周病）」など多くの選択肢が高くなり、「精神の病気（うつ病等）」「特にない」が低くなっている。



●要介護認定者

- ・70 歳以上において「高血圧」が 40%台と高く、次いで「目の病気」「筋骨格病気（骨粗しょう症、関節症等）」「心臓病」が高くなっている。



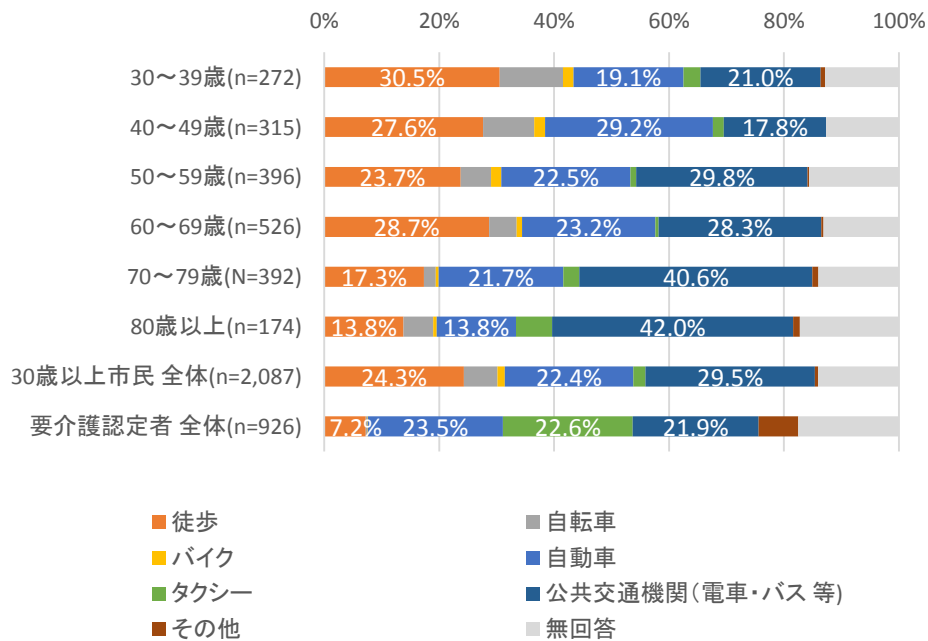
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・全体同士を比較すると、ほぼすべての病気において要介護認定者が 30 歳以上市民を上回り、高血圧については 20 ポイント以上上回る。
- ・70 歳以上において両者を比較した場合、「筋骨格病気（骨粗しょう症、関節症等）」の要介護認定者の割合が 30 歳以上市民と比べ 10 ポイント近く高くなっている。

問 16-5 受診されたときに利用した交通機関は何ですか。(SA)

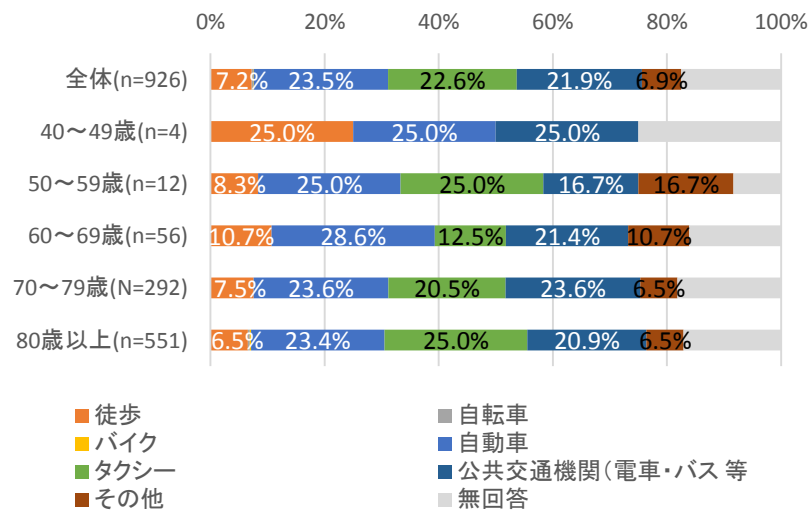
●30 歳以上市民

- ・全体の傾向として「徒歩」「自動車」「公共交通機関（電車・バス等）」の割合が 25%台となっている。
- ・加齢と共に「公共交通機関（電車・バス等）」の割合が高くなり、「徒歩」「自動車」が低くなっている。



●要介護認定者

- ・70 歳以上において「自動車」「タクシー」「公共交通機関（電車・バス等）」の割合が 25%台となっている。



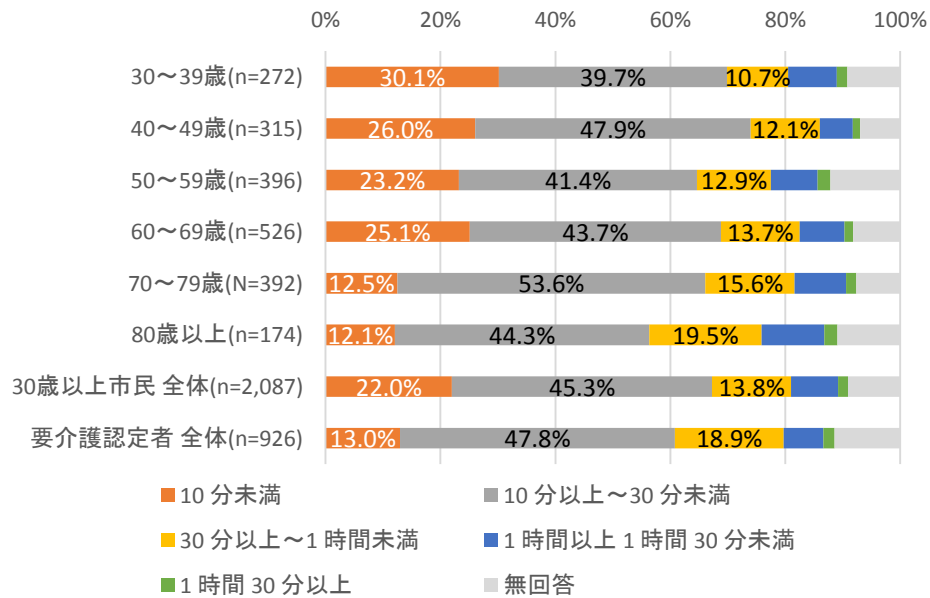
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・両者全体を比較した場合、「徒歩」の 30 歳以上市民の割合が要介護認定者に比べ 17.1 ポイント高くなっており、「タクシー」の要介護認定者の割合が 30 歳以上市民と比べ 21.3 ポイント近く高くなっている。

問 16-6 受診された際のご自宅から医療機関までの所要時間はどのくらいですか。(SA)

●30歳以上市民

- ・全体の傾向として「10分以上～30分未満」の割合が45%台と高く、次いで「10分未満」「30分～1時間未満」が高くなっている。
- ・加齢と共に「10分以上～30分未満」「30分以上～1時間未満」の割合がやや高くなり、「10分未満」は低くなっている。



●要介護認定者

- ・全体の傾向として「10分以上～30分未満」が45%台と高く、次いで「10分未満」「30分以上～1時間未満」が高くなっている。

